

新型コロナウイルス感染症対策応援基金の用途について

令和2年5月27日
総合政策局
新型コロナウイルス感染症対策本部

去る5月8日から寄附の受付を開始した「新型コロナウイルス感染症対策応援基金」については、お寄せいただいた寄附金額が目標の5千万円を超えたことから、まずは、次の事業に活用いたします。

1 これまでに集まった応援基金（寄附金）の用途

(1) 医療従事者に対する激励（約1,800万円）

県では、新型コロナウイルス感染症の治療等に当たる医療従事者がやむを得ず自宅以外に宿泊する場合の宿泊費を全額負担する医療機関に対し、4月に遡って支援することとしていますが、該当する医療従事者の方に、その労苦をねぎらう激励金として、1泊につき1,000円を支給します。

- ・ 給付対象期間：令和2年4月～9月
- ・ 支援対象者数：延べ18,000人泊（見込）

(2) 医療機関への支援拡充（約1,200万円）

医療従事者の宿泊費を全額負担する医療機関に対する県の補助率は1/2を予定していましたが、医療機関の負担を軽減するため、基金を活用することにより、補助率を2/3に嵩上げします。

- ・ 支援対象医療機関：21医療機関
- ・ 嵩上げ実施期間：令和2年4月～9月

(3) 医療用防護具の配布・備蓄（約2,000万円）

第2波の到来に備えるため、感染症指定医療機関（5病院）及び第1波において感染者の入院治療を実施された3病院（富山大学附属、富山赤十字、済生会富山）に対し、患者急増時に特に供給がひっ迫した3種類の医療用防護具（ガウン、N95マスク、ゴーグル）を備蓄用（約2週間分の使用量に相当）として配布するとともに、県においても緊急時配布用として備蓄を行います。

2 今後の寄附金募集

- ・ 新型コロナウイルス対策は、第2波、第3波も想定し、長丁場で考えることが必要。
- ・ このため、目標の5,000万円を達成したものの、当初の予定どおり当面3か月間（8月6日まで）寄附金を募集することとし、医療従事者への支援、医療機関・福祉施設で用いる防護具の整備等に充てたいと考えています。

【 参 考 】

新型コロナウイルス感染症対策応援基金の募集状況（5月26日、18時現在）

区 分	件 数	金 額
クラウドファンディング(READYFOR)	989件	2,272万円
県への直接納付	65件	2,982万円
合 計	1,054件	5,254万円